

## 令和4年度 第3回 桜川市総合教育会議議事録

1. 日 時 令和4年7月19日（火）午後3時00分～3時30分
2. 場 所 桜川市役所 大和庁舎 2階 会議室5
3. 出席者  
(構成員) 大塚市長、稲川教育長、市村教育長職務代理者、  
小林教育委員、野村教育委員  
(事務局) 田口市長公室長、園田教育部長、坪井企画課長、  
初芝教育委員会次長兼学校教育課長、田部井教育指導課長  
学校教育課 海老澤課長補佐、廣澤課長補佐、小林主任、石塚主任  
企画課 仁平課長補佐、浦井主事(記録者)

### 4. 内 容

#### ○司会（坪井企画課長）

ただいまから令和4年度第3回桜川市総合教育会議を開催いたします。初めに、大塚市長よりあいさつをお願いいたします。

#### ○大塚市長

本日は前回の「真壁地区学校の統合に関する保護者アンケート結果」を踏まえ、今後の学校の統合に向けた概要とスケジュールをお示しさせていただきます。

この後、担当より説明いたしますので、内容についてご理解を賜りますとともに、忌憚のないご意見をいただきたいと思います。よろしくお願いいたします。

#### ○司会

それでは、協議事項に入ります。桜川市総合教育会議設置要綱第4条の規定により、市長が議長をすることに定まっております。会議の進行を大塚市長にお願いいたします。

#### ○大塚市長

それでは議長を務めさせていただきます。よろしくお願いいたします。  
協議事項1 真壁地区の学校の統合について、説明をお願いします。

○初芝教育委員会次長兼学校教育課長

説明の前に、先月行われた第 2 回総合教育会議において、野村委員さんからいただいたご質問の回答を海老澤から申し上げます。

○海老澤課長補佐

前回の総合教育会議でアンケート結果をお示ししたところですが、桜川中学校のアンケートの回収率が 62.77%と低いというご指摘がございました。その際回答として、桜川中学校に通っている児童で、小学校に兄妹がいる場合は、アンケートを小学校に提出しているため回収率が低くなっているとお伝えしました。今回は、その数を除いた回収率をお調べいたしましたのでご報告させていただきます。小学校に提出している家庭を除いた桜川中の回収率は 100%でした。

○初芝教育委員会次長兼学校教育課長

「真壁地区の学校の統合」について説明。

○大塚市長

ただいま説明がありました。

これについてご質問・ご意見がありましたら、お願いします。

○市村教育長職務代理者

桜川中のアンケート結果について、小学校に提出した家庭を除けば回収率が 100%であったということについて承知しました。

また、アンケート結果から保護者の方が統廃合について納得しているということで、今後この計画に沿って進めていくということも承知しました。

ただ、ほとんどの方から賛成を得られているということで理解はしましたが、念には念をといるところがあると思います。猿田小と羽黒小の統合の際も、難しい面が多々ありました。令和 6 年 4 月を目途としていますが、若干の延期等についても考慮したうえで、進めていくということも必要ではないかと思えます。私たち教育委員のほうでそのような意見交換をしましたので、その部分も十分くんでいただければと思います。

○園田教育部長

統合の時期については、アンケート結果から目途を令和 6 年 4 月とさせていただきます。ただ、保護者の方の中にはそれまでに統合できるのかという不安を持つ方も確かにいらっしゃいます。統合は保護者の方や、地域の方々の意見を尊重して進めることですので、統合準備委員会や説明会の中で皆さんの意見を

十分に吸い上げながら進めていきたいと思ひます。

○大塚市長

谷貝小で説明会を行った際に、保護者の方から統合を推進するかどうかの基準を聞かれ、賛成が過半数を超えたら進めるとお伝えしました。アンケート結果では賛成が過半数を超え、賛成を選択された方に統合時期を聞く質問では、令和5年と6年を希望する意見が7割でした。さらに、谷貝小、樺穂小では、令和6年開校よりも5年に開校を希望する意見のほうが多くございました。これまで、令和6年より後に統合という意見もございましたが、統合するなら早いほうが良いという保護者の方の意見を反映して、令和6年開校が目途となりました。準備委員会で、特に交通手段について丁寧に議論をし、進めていきたいと思ひます。

分科会についてはいくつ作る予定か。

○海老澤課長補佐

分科会は3つ作る予定です。

学校生活分科会、総務分科会、通学分科会があります。学校生活分科会では、学校運営や教育計画のすり合わせ等の協議を行います。総務分科会では、学校の名称、校歌、校章の協議や学校の引越しの準備等の協議を行います。通学分科会は、通学支援に関する協議を行います。

○大塚市長

準備委員会は10月から行う予定か。

○園田教育部長

議員さんに入っていただく都合もあり、10月に準備委員会を発足できればと思ひています。最初に全体会を開催し、その後何回か分科会を開いた後、再度全体会となります。

○大塚市長

猿田小と羽黒小の統合の際の分科会の回数は。

○海老澤課長補佐

1年間で全体会は3回。各分科会はそれぞれ3回程度です。

今回は小学校だけではなく中学校もありますので、制服等の協議について熱を帯びることが予想されます。猿田小と羽黒小では分科会は3回でしたが、今

回はその倍は用意しなければならないと思っています。

○園田教育部長

できれば年内に校名、校章、校歌、制服まで決めていかないと、令和6年4月は難しいと思います。

○野村教育委員

今後のスケジュールについては了解しました。

今回は1つの中学校と2つの小学校が統合するわけですが、対等か吸収か、どちらの形による統合になるのでしょうか。それによって、準備委員会の話し合いがスムーズにいくかどうかが決まっていくのではないかと思います。

○園田教育部長

対等統合を考えております。そのため、それぞれの学校から分科会の委員を出してもらいますが、どの学校も同じ人数になるようにしたいと考えております。

○稲川教育長

確かに、吸収か対等かというのは一番大きな問題だと思います。猿田小の時にも、いろいろなご意見がございました。今回は桃山学園の学校区と桜川中学校区で、市としては対等でやっていきたいと考えておりますが、委員さんや地域の人のご意見も聞きながら丁寧にやっていきたいと思っています。

○大塚市長

それでは協議事項については以上でございます。

ご協力ありがとうございました。

○司会

次に次第でその他となつてございますが、事務局からの提案はございません。委員の皆様からこれ以外に、ご意見ご要望等ございましたらお願いします。

ないようですので、以上をもちまして令和4年度第3回桜川市総合教育会議を閉会いたします。ありがとうございました。